



福祉・教育・環境の向上が第一

# 杉森 ひろゆき

市議会議員ニュース

2017年特集号 杉森弘之後援会広報委員会発行 牛久市刈谷町 1-41-8  
Tel 870-0335 携帯 090-5587-7693 sugimori@max.hi-ho.ne.jp

深刻な保育士不足

牛久市ホームページより



杉森議員は昨年12月の第4回定例会で、保育士の処遇改善について一般質問しました。

## 待機児童増、保育の質低下

【杉森議員の質問】全国で保育士不足が深刻化し、待機児童の増加、保育の質の問題等に影響している。牛久市での状況はどうか。

(2頁に続く)

## 広瀬隆講演会

「地震と原発再稼働の危険」について広瀬隆講演会を下記の通り開催いたします。

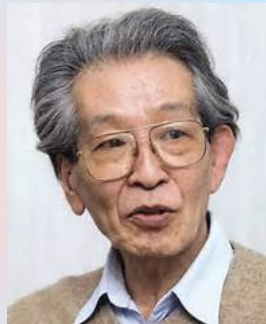
日時：**4月1日(土)**

午後1時開場

会場：**土浦市民会館  
小ホール**

チケット：1,000円(杉森も取扱います)

主催：脱原発ネットワーク茨城



## 奨学金制度を改革

牛久市議会は12月定例会で、奨学金制度を改革する議案を全会一致で可決し、杉森議員は賛成討論を行いました。

改正の内容は、**小中学校生**に対する給付型の奨学金を年額36,000円から60,000円に、**高等学校等就学生**に対する給付型の奨学金を年72,000円から12万円に増額するなど。

杉森議員は昨年6月の第2回定例会で、給付型奨学金について一般質問し、**根本市長**は「奨学金の額や支給対象者などについては、調査、研究していきます」と答弁しました。さらに**牛久市議会**は9月の第3回定例会で「大学生等を対象に含む給付型奨学金制度の拡充を求める決議」を全会一致で可決しました。

## 大学生にも拡大を

今後は議会決議が「大学生等を対象に含む…」と題されている通り、奨学金の対象をさらに大学生に拡大することが要望されます。

いわゆる先進国の中で**大学の授業料の無償化と給付型の奨学金**で、両方ともないのは日本だけです。今や日本の大学生の2人に1人が貸与型の奨学金制度を利用し、卒業しても正規雇用につけず収入が少なく、返還が行き詰まる人が多い状況です。

**子どもの貧困対策**としても、自治体が独自に施策を掲げることが期待されます。



【保健福祉部長の答弁】牛久市の公立保育園は計6名、民間で計21名の保育士が不足。

保育士不足による年齢別制限人数は、0歳児36名、1歳児13名、2歳児12名、3歳児9名、4歳児19名、5歳児12名の計101名。

11月1日現在の待機児童は83名おり、昨年度同期の34名から2.4倍となっている。

## 保育士の劣悪な労働環境

【杉森議員の質問】保育士不足の原因に、保育士の劣悪な労働環境がある。平均給与は社会人平均より月約10万円低く、逆に仕事量は多く、労働時間が長い。そのため、有資格者で保育士として働いていない「潜在的保育士」は全国に約70万人いると言われている。

## 各自治体の処遇改善に学ぼう

保育士確保のため、2013年度より政府や自治体から処遇改善のための手当や補助金が出され始めた。最近では、厚労省は中堅職員の月給を4万円上乘せすとも報じられている。

国と都は「住居支援制度」を施行している。国が50%、都が25%を経費負担するため、区市町村負担が12.5%、事業者負担が12.5%となっている。横浜市は給与改善に取り組み、横浜市独自の助成である「職員処遇改善費」を制度化した。牛久市でも独自の支援策が必要ではないか。

## 小規模特認校に係わる 通学区域外からの児童 生徒の送迎を求める請願

牛久市議会は9月定例会で、奥野小学校及び牛久第二中学校など、「小規模特認校に係わる通学区域外からの児童生徒の送迎を求める請願」を全会一致で採択しました。

なお、請願採択を受けて、本年4月より、小規模特認校制度をこれまでの試験的实施から正式実施にするとともに、送迎用バスを運用することが発表されました。



# 最低賃金を 時給1,500円に



土浦駅前  
で宣伝行動

茨城ユニオンは昨年11月に、土浦駅前ですべての最低賃金を時給1,500円に引き上げるよう求める宣伝行動を展開し、杉森議員も顧問として参加しました。

## 茨城県の最賃は771円

7月28日開催された第46回中央最低賃金審議会では、今年度の地域別最低賃金額改定の目安について答申が取りまとめられた。

答申のポイントは、各都道府県の引上げ額の目安について、Aランク25円からDランク21円まであり、茨城県はBランク24円に該当し、わずか771円になるだけに過ぎない。

## 永遠にワーキングプア？

このようなペースでは、Dランクの17県が時給1,000円になるまでに10年以上かかってしまう。(実際にはその間に物価も上がり、実質的な賃金上昇は打ち消される。)

仮に時給1,000円になったとしても、月に20日フルに働いても月収16万円で、年収200万円以下のワーキングプアに変わりはない。

## 「結婚の壁」は時給1,500円

「結婚の壁」が年収300万円といわれており、そのためには最低、時給1,500円が必要である。

今こそ、最低賃金の抜本的な改革をめざそう。時給1,500円の最低賃金を実現し、他方で中小企業の経営安定化させるために、中小企業への支援策を実施する必要がある。

# 空家対策は地域活性化

杉森議員は9月の第3回定例会で、空家対策について一般質問しました。

## 空家が20年後に3倍化

【杉森議員の質問】総務省統計局の調査によれば2013年の全国の空家率は13.5%ですが、野村総研の将来予測では20年後の33年には30.2%と約3倍にもなるといいます。牛久市における空家率、空家数、世帯数と住宅数の推移について伺います。

【建設部次長の答弁】住宅数と空家数、空家率の推移は以下の表の通りです。

|       | 住宅数     | 空家数    | 空家率   |
|-------|---------|--------|-------|
| 2003年 | 28,110戸 | 2,300戸 | 8.2%  |
| 2008年 | 33,100戸 | 3,540戸 | 10.7% |
| 2013年 | 36,710戸 | 4,330戸 | 11.7% |

## 他自治体の対策に学ぼう

【杉森議員の質問】政府は2014年11月に、「空家等対策の推進に関する特別措置法案」を成立させ、15年と16年の2度の税制改正で空家の土地への優遇をなくし、空家を譲渡することを優遇する施策へ転換しました。

特措法は市町村に空家等対策計画の策定を義務付け、さらに総務省や国交省は空家等の発生又は増加の抑制等に資する施策として8事業、空家等の利活用、除却等に対する支援施策として26事業を掲げ、2016年度予算で空家対策総合支援事業として20億円の予算を設け、空家の活用、除却、関連する事業などの補助対象事業に対し、補助率2分の1で支援する体制を設けています。

これらの国の支援・補助事業を活用しながら、牛久市としても独自の空家対策、とりわけ財政・税制面での支援策が求められます。

茨城県は県内市町村の空き家に関する助成制度も一覧にして、**日立市の子育て世帯住宅取得支援事業**を始め、**常陸太田市**の空き家リフォーム工事助成事業、**稲敷市**の空家バンク成約奨励金、**笠間市**の空家解体撤去補助金など、9市の

## 遺伝子組換え食品の危険

### 天笠啓祐講演会

「遺伝子組換え（GM）食品のいま」と題して、天笠啓祐さん（遺伝子組換え食品いらないキャンペーン代表）の講演会が11月、守谷市で開催されました。

### GMとは？



GMとは、Genetically Modifiedの略で、生命の基本である遺伝子进行操作することであり、第1に他の生命種の遺伝子を導入すること、第2に導入した遺伝子の働きを強化し四六時中働かせること、を意味します。

特定の遺伝子だけの働きを強化すれば、異常が出てくることは容易に想像できます。

### 日本が食べる割合世界一

遺伝子組換え食品について驚くべき事実は、GM食品の生産量は米国が世界第1位ですが、日本が世界で一番高い割合でGM食品を食べているという事実です。

その原因は、トウモロコシ、大豆、ナタネ、綿実などの油と搾りかすをほとんど輸入に頼っており、そのほとんどがGM食品であるためであり、さらに日本の食品表示制度が世界でも最悪であるためです。

その他、GM食品を食べることの危険性に関する多くの新しい動物実験の紹介、新たに登場したゲノム編集技術、世界で広がる反対運動、などの紹介がありました。

事例を紹介しています。

【市長の答弁】牛久市としては、計画の策定と併せて、「空き家バンク」の制度化を予定し、貸付制度や各種支援制度の具体化を進めます。

# 動物愛護の制度整備を

## トラバサミ使用禁止等の請願



牛久市議会は昨年9月23日、第3回定例会でトラバサミの使用等制限(禁止)並びに回収等の請願を全会一致

牛久市議会議会が採択

で採択しました。

茨城県では、トラバサミが**使用不許可**となつてはいますが、違法使用の通報制度も、販売時の免許書提示の周知も、店頭販売の状況把握も、市町村での使用許可の把握も、市町村への啓発普及もありません。群馬・千葉等と比較しても遅れた状況です。



トラバサミで脚を失った犬

そのような中、今回の牛久市議会の請願採択は**全国的にも画期的**です。トラバサミは**動物に与える健康被害が深刻**で重篤であるケースが多く、動物愛護の観点から重大な問題です。この牛久市の市街地においても、広範に

トラバサミが使用されており、猫がトラバサミにかかり、足を切断する事故などが絶えません。

産建常任委員会では、請願者がトラバサミを持参し、実際にその威力を示し、委員や傍聴者は一応に驚きを覚えました。

## 杉森後援会

杉森議員を応援するために後援会にご入会ください

◎会費 年間 1口 1千円

◎連絡先 870-0335

携帯 090-5587-7693



## 犬猫殺処分ゼロ条例

茨城県議会は12月22日、第4回定例会で「犬猫殺処分ゼロを目指す条例」を全会一致で可決しました。

条例に罰則規定はなく、あくまでも努力義務ですが、飼い主やペット販売業者の責任を明記し、飼育放棄の減少を目指しています。

茨城県議会議会が可決

飼い主の責任として、①所有する犬又は猫がその命を終えるまで適切に飼養する「**終生飼養**」、②適切な繁殖管理のための「**不妊去勢手術**などの措置」、③所有者を明確にするための名札や**マイクロチップ**の装着—などに努めるよう記載しています。

販売業者等の責任として、購入者等に対して終生飼養を促すとともに、終生飼養が困難な人に販売しないよう求め、県が犬猫愛護週間を設けるよう定めています。

茨城県は2005年から2012年まで犬の殺処分が**全国ワースト1**を続け、昨年度に殺処分された犬は1,279匹、猫は2,333匹で、それぞれ全国で2番目、12番目という、恥ずべき状態を続けています。

今回の条例制定は、この状態を少しでも改善し、動物愛護の模範県となるための一歩となることが期待されます。

牛久市からも殺処分ゼロを目指して、世論を盛り上げましょう。